

第1章 手引き作成にあたって

1. 趣旨

●接続期における教育・保育の重要性

平成 20 年3月の幼稚園教育要領（改訂）、保育所保育指針（改定）、小学校学校指導要領（改訂）により、幼保小の連携の必要性や就学前教育・保育と小学校教育の連続性と学びの基礎力の育成が重要視されるようになりました。

その中で、幼稚園・保育所の就学前教育・保育を小学校教育の先取り教育としてとらえるのではなく、小学校以降の教育の基礎を培うものと考え、特に幼稚園・保育所から小学校への接続期に関しては、連続性と一貫性をもった円滑な就学前教育・保育の実践につなげていくことが必要です。

●八尾市の状況

本市では、幼稚園や保育所がそれぞれの方針や特色を活かした教育・保育を実践するとともに、平成 22 年度から幼保小連携の強化を目的として、公立、私立の幼稚園・保育所の保育者、小学校の教師を対象とした合同研修会を実施しています。

平成 24 年度には、「就学前教育・保育実践の手引き」を作成し、市内の幼稚園・保育所に通う0～5歳児を対象にした連続性と一貫性のある教育・保育内容の作成や各園（所）での子どもの成長に関するエピソードをまとめました。

また、平成 24 年度には「幼保一体化の推進について」をまとめ、市内の幼稚園・保育所を就学前施設としてとらえ、そのあり方など質の高い教育・保育の提供について検討を進めています。

●手引き作成の目的

幼稚園・保育所と小学校が求められている役割や目的を踏まえ、発達と学びの連続性・一貫性を確保した体系的な教育・保育を円滑に行うことを目的として、「接続期における教育・保育実践の手引き」を作成しました。

なお、本手引きの特長としては、①「4つの育みたい力」に基づく「接続期に大切にしたい4つの視点」を定め、時期別でその教育・保育内容などを示していること、②接続期を「アプローチカリキュラム」と「スタートカリキュラム」にわけ、幼保小にて実践できるカリキュラムとして提示していること、③幼保小での取り組み事例を多く紹介していることです。

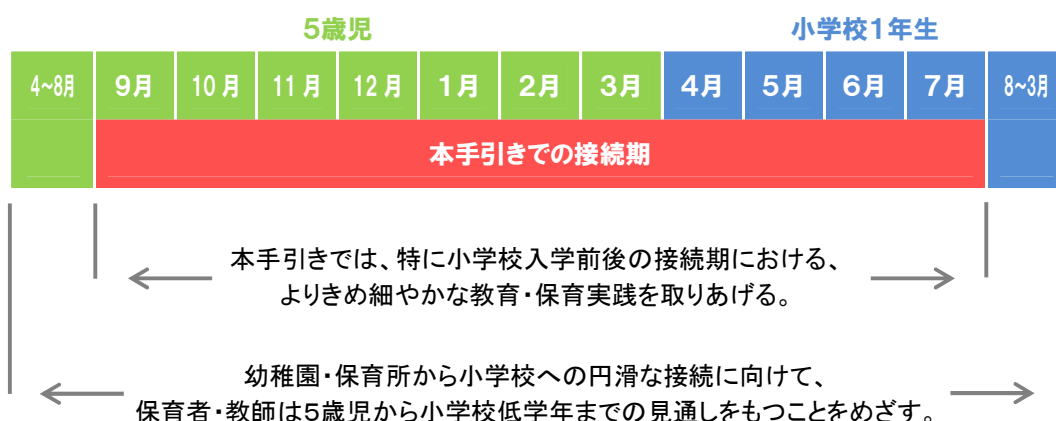
本手引きの活用の際には、この特長を活かすことで発達と学びの連続性・一貫性の確保に向けた、各幼稚園・保育所での教育・保育実践の充実や小学校での教育実践の充実、幼保小の連携強化につながると考えます。

2. 位置づけ

本手引きは、八尾市の幼児教育・保育、また小学校教育の現状や課題を踏まえ、5歳児の2学期ごろから小学校1年生の1学期ごろまでを対象に、幼稚園・保育所と小学校においてそれぞれが大切にすべき視点や内容、取組みについて示したものです。各幼稚園・保育所、小学校が日頃の就学前教育・保育や学校教育の実践で参考にするほか、指導計画・教育課程を作成する際の参考にするための手引きです。

本手引きにおける接続期のとらえ方

幼稚園・保育所から小学校への円滑な接続に向けては、5歳児から小学校低学年を見通す中で、本手引きでは特に小学校入学前後の接続期における、より細かな教育・保育内容を提示する観点から、接続期を5歳児9月～3月、小学校1年生4月～7月とします。



また、平成24年度に作成した「就学前教育・保育実践の手引き」を踏まえつつ、八尾市教育振興計画における～未来を切り拓く チャレンジする『八尾っ子』～へと成長する姿を見通しながら、その基礎となる力を育むための手引きとして作成しています。

なお、本手引き内の表記統一として、幼稚園・保育所の簡略した表記を「園（所）」、保育所（園）を「保育所」、幼稚園・保育所の園児や小学校児童を「子ども」として統一しています。

■八尾市がめざす子ども像（八尾市教育振興計画）



- ①知識を活用する子ども
- ②学習意欲あふれる子ども
- ③ねばり強い子ども
- ④健やかで心豊かな子ども
- ⑤生命を大切にする子ども
- ⑥人とのつながりを大切にする子ども
- ⑦マナーやルールを守る子ども
- ⑧わが国と郷土を愛する子ども

■4つの育みたい力（就学前教育・保育実践の手引き）

●大切にする力

自分に自信をもち、相手を思いやる力。人やもの（自然、動植物、事物等）に興味や関心をもってかかり、大切にする力。

●元気に生活する力

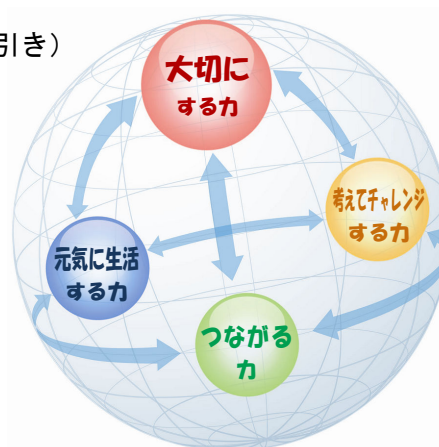
運動や食事を楽しみ、心身ともに元気で安全に生活する力。自分で身の回りを始末し、生活の場を整えるなど、一日の見通しをもって自立的に生活する力。

●つながる力

自分の思いや考えを言葉などの表現を通じて相手に伝えたり、相手の思いや話をきいて理解したりする力。友だちとのトラブルなどで気持ちの折り合いをつけたり、目的に向かって友だちと協力したりする力。

●考えてチャレンジする力

遊びの中で、ものの性質やしくみなどに好奇心をもってかかわって試したり、文字や数に興味をもって使ったりするなど工夫し探究する力。困難なことに出会っても挑戦したり、最後までやり遂げたりする力。



3. 作成体制

本手引きの作成にあたっては、平成24年度に「就学前教育・保育実践の手引き」の作成にかかるアンケート調査により、保育者や教師、保護者の就学前教育・保育や接続期に対する意見・要望を把握しました。また、「接続期における教育・保育実践にかかる事例」及び「幼稚園・保育所と小学校との連携・交流事例」に関する事例調査を行い、各幼稚園・保育所と小学校において実践している教育・保育内容や連携・交流の内容を事例として収集しました。

内容の検討にあたっては、「八尾市教育・保育実践の手引き検討会議」で審議を行い、「八尾市教育・保育実践の手引き検討会議作業部会」で内容の意見交換及び検討を行いました。

なお、「八尾市教育・保育実践の手引き検討会議作業部会」では、市内の幼稚園・保育所の保育者、小学校の教師が集まり、接続期の現状や課題、実践すべき教育・保育内容などについて意見交換を行い、八尾市が定める接続期のカリキュラムとして手引きにまとめました。